

相模岡崎城（前期）
（岡崎神社・平塚市）

岡崎小学校
（平塚市）

箱根外輪山
（二子山）

富士山

相模岡崎城（後期）
（無量寺・伊勢原市）

浄泉院

野陣台からの展望（2019・11・30撮影）

野陣台
（伊勢原市）

【相模岡崎城(前期)】 = 三浦一族の岡崎義実（よしざね）が平安時代（1177）に築城しました。当時、日本の城は自然の地形を利用した造りで、石垣はありません。源頼朝が平家を討つために挙兵したとき、岡崎義実は、小田原の石橋山合戦に参戦、敗戦して、源頼朝と箱根・湯河原を一緒に行動した武将です。石橋山合戦では息子の真田与一義忠を失いました。岡崎一族は約156年間存続し、鎌倉幕府の崩壊とともに滅亡しました。（大句自治会会報第24号以降の「ふるさと大句」に記載しました。当ホームページ「大句自治会会報一覧」をご覧ください。）

【相模岡崎城(後期)】 = 室町時代になり三浦時高（ときたか）が岡崎城を復活、次に三浦義同（よしあつ）道寸が城主になり、城の改修を行い、約18年間使用したようです。北条早雲は明応4年（1495）大森藤頼を追い小田原城に入り、17年後の永正9年（1512）8月、北条早雲は伊豆・相模の軍勢を率いて岡崎城に総攻撃をかけて勝利し、入城したようですがその後のことは解明されていません。後期岡崎城は、東西南北が台地に囲まれ、2キロ四方の区域にあり、城の周辺は沼地（土腐（どぶ））に囲まれ、難攻不落の城であったことが解っています。（大句自治会会報第36号以降の「ふるさと大句」に記載しました）

【野陣台】 = 相模岡崎城(後期) の兵士練兵場又は出兵するときの集結場所として使用されていたものと思われます。（大句自治会会報第11号ふの「ふるさと大句」に記載しました。）